

△フルスタン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ファレカルシトリオール falecalcitriol 【分類】 活性型ビタミンD3 誘導体制剤

【単位】 $\Delta 0.15 \mu\text{g}$ ・ $\Delta 0.3 \mu\text{g}$ /錠

【常用量】 ■維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症； $0.3 \mu\text{g}/\text{日}$ ■副甲状腺機能低下症（腎不全におけるものを除く）における低Ca血症とそれに伴う諸症状の改善・クル病・骨軟化症（腎不全におけるものを除く）にともなう諸症状： $3\sim 9 \mu\text{g}/\text{日}$

【用法】 1日1回

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 適応症により用量が異なるが腎機能に応じて用量調節する必要はない (5)

【特徴】 活性型ビタミンD3 の26位及び27位の水素を全てフッ素に置換した誘導体。生体内で24位水酸化による不活性を受けず、主代謝物の23位水酸化体にも活性があることから強力で持続的なカルシウム代謝作用を示す。維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症において、血清Caを正常範囲に保つ投与量で副甲状腺ホルモンを低下させる。

【主な副作用・毒性】 高Ca血症、高リン血症、腎結石、尿管結石、好酸球の増加、掻痒感、肝障害、尿pH上昇、眠気、パーキンソニズム、消化器症状、口渇、関節周囲又は皮下の石灰化、骨痛、関節痛、肩こり、女性型乳房、顔面紅潮など

【モニターすべき項目】 血中Ca、IP値

【F】 17% [ラット]，30% [イヌ] (1)

【Tmax】 約4hr (1) 透析患者で5~6hr (1)

【代謝】 23位水酸化体まビタミンD活性を有する (1) 内因性ビタミンD代謝酵素により代謝およびグルクロン酸抱合される (1)

【排泄】 尿中回収率3~5% [ラット]，胆汁中排泄16% [ラット] (1) 【CL】 1.198 L/hr [po] (1)

【t1/2】 50~60hr (1) 【透析患者のt1/2】 61.1hr (1)

【蛋白結合率】 98%以上 (1)

【Vd】 V1=41.91L/man, V2=91.07L/man (1)

【MW】 524.59

【透析性】 蛋白結合率が高いため除去されない (1)

【TDMのポイント】 TDMの対象にはならない 【OW係数】 LogP=6.2 (1)

【備考】 経口剤で唯一維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症に保険適応をもつ。注射剤が使用しにくいCAPD患者での活性型ビタミンD療法に有用。

【更新日】 20140821

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。